

平成26年度 第3回入船地区学校統合懇談会議事要旨

1 開催日時 平成27年3月10日(火) 午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所 消防本部 多目的ホール

3 出席者

(委員)

学校統合アドバイザー 小松郁夫氏(常葉大学教職大学院教授)

入船中学校長 緒方利昭委員(会長)、入船南小学校長 鞠山誠人委員(副会長)、

入船北小学校 PTA 会長 新田裕子委員(副会長)、

入船北小学校長 手塚和真委員、入船北小学校 PTA 役員 君島佳子委員、

入船南小学校前 PTA 副会長 大下玉美委員、入船中学校 PTA 副会長 池田恵子委員

教育総務部長 米本慎一、教育総務部参事 鈴木忠吉、

教育総務部次長(教育政策課長) 佐藤伸彦

(事務局)

学務課主幹 鈴木孝一、教育政策課長補佐 小林桂子、

教育政策課主査 佐藤克文、教育政策課主任主事 小倉隆志

4 議題(情報交換)

○学校統合に係る行事などについて

・お別れ集会の報告

○入船小学校開校に向けて

5 会議経過(概要)

(1) 学校統合に係る行事などについて

委員：入船南小学校は、7日(土)に午前中は6年生を送る会、午後はお別れ集会を開催した。内容は、美浜に住んでいらっしゃるプロのヴァイオリニストとフルート奏者の方の演奏から始まり、その後「ありがとう入船南小学校」と題して学年ごとにそれぞれの映像に合わせて子どもたちが発表を行った。最後に来賓の方にステージに上がっていただき、子どもたちが花束を渡して閉式となった。参加者は、子どもたちを合わせて850名位。本当にしっかりと、子どもたちには思い出に残る良い会になったと思う。

委員：子どもたちがすごく一生懸命だった。午前中の6年生を送る会も午後のお別れ集会もすごく集中していて、良い歌、呼びかけを披露してくれたと思う。私が印象

に残っているのは、ビリーブと最後に6年生が歌った3部合唱の「ふるさと」。6年生でこんなに歌えるんだと思うくらい、本当にすごく良い歌声だった。

委員：入船北小学校と入船南小学校は同時開催だったので、入船南小には、教頭が出席したが、「本当にしっとりとした良い会だった。」と言っていた。

事務局：普通に生活していると学校を振り返る機会はなかなかないが、このような機会に自分達の学校を振り返って学校の良いところを見つけ、学校への思いがすごく高まったことが、良い機会だったのではないかと思った。学校を大事にしていこうという気持ちが育ったということを見ていて感じた。

委員：入船北小学校は、第1部は在校生、第2部はPTAの主催、卒業生が是非やりたいということで第3部もでき、3部構成でほぼ1日ばかりで行った。改めて入船北小学校というのは、在校生、保護者のみならず、地域の方や卒業生にとっても愛されていた学校なのだということを感じた。集会とは別に、卒業生が校舎内を「懐かしいね、こんなことがあったね。」という感じで散策し、5時を過ぎてもなかなか立ち去らないというような状況だった。いつまでも名残惜しそうに校舎内を歩き回ったり、部屋を見たり、校庭で遊んだりする姿を見ると、ちょっとじんと来た。

委員：私たちは約1年半かけて3月7日のお別れ集会の準備を進めてきた。1部は子どもたちが、思い出の好きな場所をスライドショーを使って発表する会、2部は浦安でご活躍されているシンガーソングライターの洋一郎さんのステージ、卒業生で音楽家をされている方たちの演奏と、吹奏楽部が演奏し、ふるさとや校歌と一緒に歌った。最後に35年の歴史をつくったスライドショーを上映した。最初は笑いがあつたり、歓声があつたが、最後の方になるとみんな懐かしい思い出で涙ぐんだりして、感動的なスライドショーができた。卒業生の方、ゲストの方、保護者の方、本当にいろいろな方たちの協力を得て、とても大変だったが、良い会ができた。保護者と子どもたち以外の卒業生、一般の方で400人を超える方々が当日来てくださった。

委員：入船中学校の吹奏楽部が3部の最初に演奏するということで、楽器運びを兼ねて参加させてもらった。卒業した入中生がたくさん来ていたので、自分もじんとした会となった。

委員：私は学校統合に4年間関わってきたので、これだけ多くの方が学校を愛して、思

い出をつくり、新たな出発をめざしていただき、ありがたいなと思った。特に、PTAの方がいろいろと準備していただいたところが目に見えて、本当に楽しく前向きな明るい会になって、とても良かったなと実感した。本当にありがとうございました。

事務局：閉校式の日程は、入船北小学校入船南小学校ともに3月25日（水）で、修了式後を予定している。どちらも市長のあいさつ、児童のお別れの言葉、校旗返納等の簡単なセレモニーを予定している。入船南小学校は9時半から入船北小学校が10時半から予定している。両校の閉校式に市長、教育委員長、教育長が参加される予定である。

（2）入船小学校開校に向けて

委員：開校に向けて3校で校長、教頭、教務主任それぞれが、共通理解をしっかりと図りながら進めてきた。浦安市では小中連携・一貫教育を進めており、連携はいろいろな形でやってきている。来年度は廊下で学校がつながるので、9年間を見通した教科のつながりというところを進めていきたいと考えている。それに当たっては小学校中学校の教員の情報交換の場が必要だということで、来年度の日課表を中学校と合わせた。例えば1、3、5時間目の開始時刻は中学校と合わせてある。50分と45分という時間の違いはあるが、中学校の先生が小学校に来てどんどん授業をやっていただけるように体制を整えていきたいと思う。それから水曜日に連携の日という小・中学校の情報交換の日を設けて、子どもたちの様子や、教科・教材研究を行っていこうと思っている。今も6年生の理科に入船中学校の理科の先生に来ていただいて、まとめの所をやっていただいている。発展的な所だが、子どもたちはとても喜んで理科の学習をしている。小学校で基礎基本をしっかり押さえ、発展的な部分を中学校の先生に入ってもらえるとよい。特別教室の有効活用としては、図書室で中学校・小学校のどちらの本も借りられるようなカードを設定していただいている。それによって子どもたちが借りられる本が倍以上に増えるので、非常に楽しみである。読書教育を学校で力を入れて取り組んでいき、本が好きで本をたくさん読む子どもたちを育てていきたいと思う。また、中学校と小学校の学校教育目標についても9年間を通してどういう子を育てていくのかということを確認しながら進めていきたいと考えている。

委員：3校の校長先生で、何度かグランドデザインについて話をしてきた。キーワードは、「入船しかできないこと」「入船だからできること」。地域性が強く打ち出されると良いと思う。統合から一步ステップアップして、小中連携の方で入船らしさを出せると良いと思っている。

委員：懇談会の会長を3年間させていただいて、この会で話したことが参考になった。入船中学校が、これからどういう風にしていかなければいけないかという指針みたいなものが出ていたと思う。体育祭では未来の入船中生である小学生と一緒に走ったり、合唱コンクールでは入船北小学校や入船南小学校の児童と一緒に歌ったり、また理科では理科教育推進校が入船南小学校と入船中学校なので、いろんな理科的なことをやってきた。校長、教頭、教務、先生方とも連携を図りながら進めてきた。また地域文化祭は、部活の生徒たちが非常に頑張ってくれて、うちの学校にはこんな部活があると言ってくれた。自治会を中心に健全育成連絡会という生徒指導を中心とした会を設けているいろんなことをやってきた一年だった。これからは、今までやったことの中でどこをポイントにやっていくかである。学習面では、英語活動推進室や地域連携活動室を作ったり、植物工場の部屋を作ったり、図書室も小学生が見やすい環境を作ったりしていこうかなと思っている。中学生に何のメリットがあるのかという質問があるが、私は情操教育の面で入中生が小学生を見る目が変わってきたと思う。これから連携が深まっていけば、さらに変わっていくと思う。

委員：3人の校長先生のありがたい思いを教育委員会としてできるだけバックアップしていきたいと思っており、そのために準備を進めてきている。

- ・開校式は4月7日（火）。委員の皆様にもスタートの1日なので、参加いただきたいと思う。
- ・児童数・学級数に応じて県から教職員を配置する。それに加えて市から小中連携推進教員として理科の先生を1名、入船中学校に配置予定である。
- ・ALT、学校司書、理科支援ティーチャーの配置も進めている。
- ・読書教育に力を入れるということで、小学生が中学校の図書室の本も借りられるような形に進めている。
- ・工事も順調に進めている。渡り廊下もつながり、増築棟も年度内に使えるようになる。2学期から全部のリニューアルということでスタートできるという予定である。
- ・入船小・入船中・高洲中にタブレット端末を先行導入する予定で進めている。
- ・道具として活用していただきたいということで、植物工場を導入する予定でいる。

委員：PTAの方は、統合ということで何回か会議を持ち、会則や総会の流れは大体決まっている。役員の仕事の内容を見直して、みなさんがもっとやりやすくなるようにした。中学校と小学校が連携するという事なので、PTAの方でも連携し

ていけたらと考えている。

委員：本部役員や学級役員等の選出の仕方についても話し合いを進めた。入船北小学校から入船小学校に行く保護者の方には、来年度のPTA役員の立候補のアンケートを取ったので、上手に役員選出ができたと思っている。

私は、統合懇談会発足当時から会に委員として出席させていただいた。4月7日に新しい学校ができるということは、ゴールであり新たなスタートであると思う。これだけ皆さんが3年も4年もかけて話し合ってきた中で、皆さんが思うことは子どもたちに良い教育を、良い小学校生活を良い中学校生活をとる一心で、いろいろな方向の話があったが、ゴールは一緒だったんだと思う。今話を聴くと皆さんの熱意が伝わって良い学校になるのだなと思い、小学校は閉校してさみしいという思いはあるが、新たな小学校に子どもを通わすことを楽しみにしている。入北小の子どもたちは学校が無くなってしまいうさみしさはあるが、母校が入船北小学校、入船小学校、美浜北小学校という形で、僕たちには母校が2つあるんだと胸を張って言えるような学校生活を、私も4月からお手伝いしたいと思う。

委員：魅力ある小学校づくりに皆さんが力を注いでくださっている時に子どもを送り出す親として、安心ではないが期待を込めている。子どもは、今になり現実が見えてきて、新しい小学校に行くことをかなり不安がっている。今後娘が新たに4月に行って、笑顔で迎えられるかどうか大切。今学校の中の電気がLEDになったり、理科の素晴らしい教材が入ったりとかそういうことは目に見えてわかるが、当事者の心のケアには一切触れられていない気がした。新しい学校に期待を込める反面、かなりの不安を持っている生徒や保護者がいるということも忘れないでほしい。

委員：内面という言葉もあったので、私たち現場の教員ができる限りのサポートをしていきたいと思う。

委員：中学校のPTAとしても小学校のPTAの方々と交流ができればよいかなと思う。入船中学校も子どもたちが少なくなっていく中で、この取組が何年かかるかわからないけれどぜひ成功させていただき、活気が出る学校になってほしい。ぜひ増える方向性に向かって親もお手伝いできたらと思う。

委員：私は、入船小学校の開校が楽しみ。1小1中の利点を生かして入船地区の魅力ある学校づくりを生徒や児童を中心に考えていきたいと思う。先ほど内面的な心のケアという話があった。いろいろな施設があっても、最終的には子どもたちが楽

しく6年間または3年間過ごしてこの小学校でよかったな、この中学校でよかったなと思えるような学校づくりを、頑張りたいと思う。

4. 学校統合アドバイザーの助言

学校を統合するだけでも大変なことなのに、プラス小と中の連携・一貫もやってほしいという2つの重い仕事を期待している面もあって、いろいろな御苦勞があった。しかし、別々にやっていると難しい部分もあり、逆によいきっかけである。小学校2つが1つになり、さらにその子たちが上がってくる中学校が、「私知らないよ。」ではなく、「9年間でその地域の子どもたちを育てるよ。」としてくれるのは、ピンチのように思えるけど逆にいい教育をつくっていくチャンスでもあるという風に思っている。

2つ目は、私たちにとって学校ってすごいなと思った。人生そのものと密接にかかわっていると改めて実感した。新しい学校のイメージができるとうい。

3つ目には、統合するだけでなく、これを機会に「新しい教育を行っていきます。」と、今求められている先進的なことに取り組んでいくということで、大変楽しみにしている。親や祖母の世代ではなかった新しい教育が始まろうとしている。

学校によって文化ややり方が違う。違うからダメではなく、それを乗り越えたり、話し合いをしたり、お互いを思いやったりしていくということがこれからの社会の中で大事なこと。違っているものをどうやって折り合いをつけて、さらにいいものを出していくかが大切。社会では卒業した会社に10年以上いる子は半分以下で、結構転職をしていて、企業文化の違うところに入り、それをうまく利用して力をつけていたりしている。9歳の年の違いが同じ地域の所にできるのは、子どもとしての異文化を感じることであり、中学生がやさしくなると聞く。大変なこともあるだろうが、だからこそ学ぶことがある。お子さんが帰ってきていろいろ話した時も、「だから勉強しなくてはいけない。」「だから仲良くしなくてはいけない。」と家族で話してあげると、「ああそういうものか。」と分かってもらえる。小中が連携して、今までありえなかった教育ができたりして、30年後が楽しみ。ぜひ教育委員会も今まで以上にサポートしてほしい。

5. お礼の言葉

学校統合に関わる懇談会に真摯に向き合っていただきまして、ありがとうございます。統合は新しいスタートであり、新しい学校を考える、新しい学校づくりに立ちあい、ご協力いただきましてありがとうございます。また、委員の皆さまが真摯に向き合ってください、大変感慨深く感謝の気持ちで一杯です。

入船北小学校・入船南小学校はなくなりますが、新しい学校でその良さを引き継いで隣の中学校と小中連携・一貫教育をさらに進めていってほしいと思います。